

実社会対応プログラム(課題設定型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「制度、文化、公共心と経済社会の相互関」

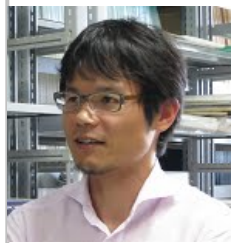
◆研究テーマ:「制度が文化を通じて人々の社会規範や公共心に与える影響」

研究期間:H27.10~H30.9

委託費総額:26,780千円

## <研究代表者>

佐々木勝:大阪大学大学院経済学研究科/教授



<専門分野>

労働経済学・行動経済学

<Webページ>

<https://sites.google.com/site/masarus/asakilab/>

## <研究目的・概要>

・「**新しい公共**」社会の実現には市民の高い**公共心・協調性**が必要



「**新しい公共**」社会の形成のために必要な**制度・市場機能・環境**を模索する。

- ・人々の公共心・協調性が高まる制度とは?
- ・実験室実験とフィールド実験から検証
- ・実務者(国内外NPO)と提携



人々の公共心・協調性が高まるような制度を提案することで**知的社会**の形成に貢献

## <研究計画の特徴>

- (1) **行動経済学**の分野
- (2) **実験室実験**: 実験室という管理された環境のもと、制度の導入による被験者の公共心や社会規範の変化を観察
- (3) **フィールド実験**: 災害情報の精度・伝達スピードによる個人の防災活動と地域全体による防災協働活動の違いを比較

## <目標とする研究成果>

- (1) 実験室実験プロジェクト

市場取引や制度(投票や委託・委任による集団決定)が被験者の公共心・社会規範に与える影響を解明し、適切な制度を提案する。

- (2) フィールド実験プロジェクト

フィリピンの村落住民から災害情報がもたらす個人と地域の防災行動を把握した上で、最適な災害情報伝達の仕組みを提案する。